

2017年(平成29)4月12日(水) 第37回 例会 (通算2743回)



人類に  
奉仕する  
ロータリー

RI 会長: ジョン・F・ジャーム

# Weekly Report No.2622

Rotary International District 2580

## 石垣ロータリークラブ



Rotary

石垣ロータリークラブ

地区ガバナー: 上山 昭治氏

「出会いを大切に」

ロータリーレート \$1=¥116

### 石垣ロータリークラブ55年のあゆみ

### 1992~1993年度



三十二代会長 勢理客 吉雄

副会長 宮良 徹 幹事 漢那 憲仁  
副幹事 宮里 師伴

- 大瀨信泉生誕 100 周年記念事業期成会発足により¥3,146,644 を贈呈
- 台東東 RC 創立 10 周年記念式典出席のため訪台
- 第 1 回石垣、台東東 RC 青少年交換ホームステイ実施(6 名参加)
- 台東東 RC 友好親善訪問団歓迎懇親会

《社会情勢》 1993 年

- ・西表トンネル開通式
- ・サザンゲートブリッジ開通
- ・M7.5 の北海道釧路沖地震が発生
- ・日本で初めてのプロサッカーJリーグ開幕

### 【RIテーマ】



1992~93 年度 RI 会長  
クリフオード L.ダクターマン  
(米国・パークレーRC)



### まことの幸福は人助けから

会 長 : 前木 繁孝 副 会 長 : 大浜 一郎 幹 事 : 前原 博一  
副 幹 事 : 宮城 早人 SAA・出席: 遠藤 正夫 情報・会報: 宮良 薫

例会日 水曜日 12:30~13:30  
例会場 ホテル日航八重山(0980)83-3311  
事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4

TEL/FAX(0980)83-2917  
URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>  
E-mail [ishiroary@ninus.ocn.ne.jp](mailto:ishiroary@ninus.ocn.ne.jp)

## — . . . — 第2742回 2017年4月5日(水)例会報告 — . . . —

- 司会進行：遠藤 正夫
- ロータリーソング：君が代・四つのテスト
- ゲスト：上原 真人氏(八重山病院麻酔科部長)
- メイクアップ：新賢次・宮良薫・佐久本達・白道直行
- 出席報告

会員総数 39名 出席義務会員 38名  
出席数 26名 欠席数 12名  
出席率 68.42%(4月通算出席率 68.42%)

### 本日のここここ

	小計	累計
BOX	¥9,000	¥235,000
コイン	¥1,889	¥116,561
合計		¥351,561

○京都本山妙心寺団体参拝に行っておきました。とても寒く日本酒が大変うまかった。(小林 昌道)

**先週の週報に誤りがありましたので、訂正致します。**

○新年度を迎えて、心晴れやかに頑張りたいと思います。ゲストの上原先生、本日はありがとうございました。(前木 繁孝)

○4月1日よりアートホテル石垣島にリブランドしました。永年ホテル日航八重山をご利用いただき、ありがとうございました。(羽地 宏幸)

○上原先生、卓話有難うございます。(橋本 孝来)

○竹富町商工会ブランド創出プロジェクトの商品開発が県内商工会で1位を取る事が出来ました。(上勢頭 保)

○本日、第10回の理事会が終了しました。あと残り2回頑張ります。(前原 博一)

○上原先生今日の卓話ありがとうございました。(仁開 一夫)

○アトランタ最終モアイ今日です。出席よろしくお願ひ致します。(大浜 勇人)

○還暦になっちゃいました！(南波 正幸)

### 会長挨拶：前木 繁孝

先月は石垣 RC 創立月という事で、創立について考える機会がございました。そして月末には久しぶりに夜間例会を開催しました。3/22の週報ですが、大瀨 達也さんのお父さん、大瀨正良さんの写真が表紙に載っていました。30代会長の瀨正良さんの写真と共に、達也さんがそこにいらっしやいまして「載ってますね」という話をしたら、「今日が父の命日なんです」という事で、不思議な縁を感じました。

それから手前味噌で申し訳ないですが、前木組が毎月発行している「かわら版」を配布しています。これは18年前に発行して、途絶えることなく

今日まで続いております。18年前に公共工事ばかりしていた私は、それじゃいけないと、公共も先細りもあるだろうし、住宅を造ってくれるお客様に対して、十分なフォローが出来てないと感じた時に、やろうと思いついたのがこの CS (Customer Satisfaction) 誌です。今は「かわら版」として会社の近隣とそれからリフォームしてもらったり、新築させて頂いたり、関わったお客様に手配りしています。約5,000部近くを発行しています。その後、RCに入りまして、4つのテストの確認もしながら、意を強くして継続ができていくということもございます。それがやはりロータリーの精神を少しでも私の中に入り込んでいるから継続出来ていると思っています。

本日のゲスト、八重山病院麻酔科部長の上原真人先生ですが、那覇読谷の生まれで長男であります。ご夫婦とも沖縄本島出身で石垣に来られて、八重山病院勤務が終わったら帰るかと思ったら帰らずに石垣島で奉仕をしたい、役に立ちたいという事で、ずっと石垣を希望されて現在に至っております。八重山病院建築の際には準備室が出来た段階から中心的存在で、新八重山病院の建設に大きくかかわって来られて、現在も内容はほぼ上原先生を通じて決まっていくという状況にあると思います。また新聞に連載されておりました「データでムヌカンゲー」、186回まで連載されて、周りの要望もあって自費出版で本にされました。ものすごい熱意のある上原先生です。

### 幹事報告：前原 博一

<第10回の理事会の報告>

- 1.今回寄付に関して、東京 RC が東北すくすくプロジェクト、東北大震災への10年間の支援プロジェクトを行っております。当クラブは2年に1回5万円を寄付しています。今年度3回目ですが、寄付することが理事会で決まりました。また田無けやき RC と毎年指田文庫に寄付をしていました。先月で田無けやき RC が解散という事になりましたが、石垣 RC としては引き続き指田文庫に図書費の寄付を検討することになりました。具体的にはこれから決定したいと思います。
- 2.次年度の地区補助金の申請の案内が届きます。7/1~9/30が申請期限になります。

5月14日(日) 公会例会 決定

講師：安里 繁信氏

(沖縄公共政策研究所理事長)

## ゲスト卓話：上原 真人氏

八重山病院麻酔科 部長



### テーマ「石垣医療の現状について」

私は2・3年のつもりで八重山病院に来ましたが、いろいろ考えて八重山病院の役に立てるのではと思ひ、もう16年八重山病院におります。

平成25年7月6日に台風9号で、救急室が散々な被害を受けました。その翌日には当時の知事が来ました。25年6月1日に宮古病院が新しく開院しましたので、通常ですと平成30年くらいになって八重山病院建築の話が出るというのがだいたいのペースらしいんですけど、それを約5年前倒して、八重山病院の老築化がひどいという事で、建築を始めたのが経緯です。その時私は麻酔科部長でありましたが、16年もいて、色々ヌムカンゲーとかデータをまとめて地域の皆さんに発信している、また看護師とか検査技師とかともつながっているという所から、現場の意見を建築士ないしは県との調整役をやる事になり、今日に至っております。現時点では不発弾がじゃましていますが、来年の3月には引き渡しを受けて、出来れば5月一杯には引っ越しをする予定です。今年の台風次第ではずれたりするかもしれませんが、来年の6月ないしは7月以降に新病院の医療が継続できるという事でご理解いただきたいと思ひます。

現在、八重山病の医師は約49人いますが、八重山高校出身は2人です。院長の依光と泌尿器科部長の仲間です。この二人同級生で今年度いっぱい退職しますので、来年の4月からは八重山高校出身の医師はいなくなります。これ自体はそんなに大きな問題ではないと思ひますが、感じるのやはり八重山出身の医者がいないという事で、県外もしくは琉大の派遣で八重山病院に医者が来ますが、1年2年しかいなくて、特に地元の市民とその後ろにいる家族、そこまで背景を読み取って、その人に合ったオンリーワンの医療をどうしたらいいのかという考えに至る環境にないんです。出

来れば3分の1から半分、地元の人がいたらおそらくそういう人を醸成できるのかなと、それを創りたいと思うのが、八重山に長くいる理由の1つです。

もう1つ情報を収集しまして、八重山病院に勤務している昭和39年生まれの看護師長に、出身は宮古高校なんですけど、同級生で何人看護師になったかと聞くと40名と答えました。昭和44年生まれの八重山高校出身の副看護師長に、同級生何人看護師になったと聞いたら4人と答えました。実際看護師も地元出身の人が約25%しかいません。本島または内地から来てお嫁さんになっている人が約25%、合わせると、いわゆる中長期的に八重山病院で働いてくれる人が約5割です。それ以外の50%は本島から県立病院をローテーションして約3年働いて戻っていくというのを繰り返すわけです。もう少し増やして、出来れば7割にする事によって、例えば今年、八重山病院に新卒の看護師が10人来ています。看護学校卒業したての看護師に点滴や注射の仕方とかを教えるためには、1対1で教えないといけません。そうすると自分の仕事をしながら、新人に教えていかないといけないので、自分の業務がおろそかになってしまいます。個人的には八重山病院くらいの規模であれば、だいたい4・5人くらいの新人がいて、それをある程度育てていく、残りは本島の病院とかマンパワーの多い所で育ててもらって、3・4年して来てもらうのが一番理想かなと思ひていますが、現時点では難しいので、出来るだけ地元出身の比率を上げたいと、同時に思ひています。そこで始めたのが八重山高校の若鷲プロジェクトです。何かというと八重山高校出身の先輩方、色々な職種の方がいます。約20職種の先輩に八重山高校の現役の1年生・2年生に職業訓話をしてもらいます。自分が働いているやりがいとか仕事の楽しさとかを毎年講話しています。約18年続けているそうです。それを聞いて、私は八重山高校出身ではないですが、ぜひ入れて下さいという事で、そこに行って八重山病院の医師は楽しいよ、やりがいがあるよと話をしたり、看護師も連れて行ってやったりしたこともあります。始めて10年近くになりますが、今年で4回目で、先日3月17日にも八重山高校に行きました。そこで話した内容をご紹介します。

今医師は日本全国で約31万人います。医師の数を地域別に見る時に、基本になるのは人口10万人に対して医師が何人いるのかという事で、色々データを比較しています。全国で31万人という事



は、人口 10 万人に対して約 244 人の医師がいることになります。終戦直後、沖縄県全体に医師は約 60 人しかいなかったそうです。それが増えて今、沖縄県の平均も 247 人という事で、日本全国とほぼ同じになっています。同じになっていますが、宮古・八重山はまだ低くて、合わせて 180 人です。240 人まであと 60 人足りない。10 万対の人口ですから石垣は 5 万ですので、60 人の半分で 30 人、あと 30 人医師がいて全国平均になるということです。八重山病院でも開業医でもいいですけど、あと 30 人いる事でやっと日本全国と同じくらいの医者になるという事です。なので、高校生の皆さんが頑張って医者になったら八重山病院でも働けるし、地域の開業医としても働けるし、そうすることによって八重山の医療が、今別に私の中では劣っているとは思いませんが、出来ない医療も出来るようになっていくかもしれない。個人的には私と一緒に八重山病院を良くしていこうと思う、後輩を創りたいなと思っています。

一方で先月医師の国家試験が行われていますが、去年のデータですが、去年の医師国家試験を受けた人数は全国で 8,600 人です。去年の医師国家試験を受ける人は、現役ストレートで行った場合は、平成 4 年生まれの子ども達です。では平成 4 年生まれの子どもは何人かというとなら全国で約 120 万人です。120 万の内 8,630 が医師国家試験を受けました。割合は約 140 人分の 1 です。つまり去年の医師国家試験を受けた人たちの世代の同じ学年で 140 人いたら、その内の 1 人医者になっているという事です。さきほどの 10 万に対して 240 人という数字を計算すると、400 人に 1 人です。日本全国では 400 人の人口に医者が 1 人います。でも 1 つの去年の学年だけでいうと 140 人に 1 人が医師になっています。という事は、今後医師の数がこのままいくとどんどん過剰になっていく。ですので、ただ単に医者になるだけではなくて、地域や国に貢献することだけでも十分な役割だと思っていますので、そういう人になるように、そういう意識も付けるために、八重山高校でそういう話をしてきました。

最近の八重山高校の進路方向をちょっとお知らせしたいと思います。私は平成 7 年に琉球大学を卒業していますが、同期に八重山高校卒業の同級生がいて、彼は脳外科になって沖縄本島にいます。いったん外に出てしまって、結婚とか仕事とかの繋がりも出来て、簡単に帰ってくることも難しくなるとは思いますが、私の同級生 100 人のうち 1 人が八重山出身でした。その後僕が知る限り 5 年に

1 人くらい琉球大学に八重山出身がいたと思います。私がこういう活動をして今、琉大 6 年生に 1 人、5 年生に 1 人、3 年生に 2 人、2 年生に 1 人、今年八重山高校から 3 人受かりました。この 6 年間で 8 人琉大の医学部に入っています。私は 8 人全員ほぼ知っていて、8 人が僕らの世代と違うのは、ぜひ八重山に帰って来て地域に貢献したいと言っています。彼らが帰ってくる約 10 年後、もう少し八重山病院がカッコよくなるかなと思っています。来年できるきれいな建物の病院に中身の医者がしっかりできるように、私は今後それを手伝って行きたいと思っています。

最後に看護師はこの数年毎年 20 人くらい看護学校に行っています。あと 10 年くらいすると看護師も地元出身者が八重山病院に来てくれると思っています。そこも合わせてあと 10 年頑張れば少し楽しくなるかなと思っています。

